

当日のプログラム（予定） ※日英通訳付き

- 14：30－14：40 開会挨拶（近藤駿介 原子力発電環境整備機構理事長）
- 14：40－15：40 講演「ドイツにおける DBE の地層処分事業に関わる経験」
（ボリエス・ラプケ氏 DBE 社 社長）
- 15：40－16：00 質疑応答
- 16：00 閉会挨拶（閉会）

※都合により、当日のプログラムは変更になる場合があります。

～参考～

講演者

ボリエス・ラプケ氏

1961年ドイツ、ハーメルン生まれ。

ドイツ連邦陸軍の徴兵義務を終了後、ゲッティンゲン大学で経営学位を取得。

エネルギー分野では30年近くの経験を有しており、国際的に著名な貿易会社の社長を務めたほか、ドイツ最大の電力会社である E.ON で原子力関係の役職を歴任。

2009年から現職。

ドイツの取組み状況（概要）

進捗状況 サイト選定手続きを検討中

1977年 処分場候補地としてゴアレーベンを州政府が提案し連邦政府が了承

1986年 ゴアレーベンの地下施設において探査活動を開始

1989年 処分実施主体として連邦放射線防護庁（BfS）設置

2000年 政策見直しにより10年間の探査活動の凍結

2010年11月 探査活動再開

2011年12月 政府と国内全州が新たなサイト選定の実施することに合意

2012年12月 ゴアレーベンでの探査活動を一時停止

2013年7月 新たなサイト選定手続きを定める法律が成立。ゴアレーベンでの探査活動を終了。同法に基づき設置された「高レベル放射性廃棄物処分委員会」がサイト選定に関する基準、手続きに関する報告書を連邦議会に提出。法整備に向け検討中。